

▼個々に合わせたレシーブ練習のための球出しをする矢野さん。



矢野さんがエスキートニスに出会ったのは44年前。研修先の会社の通路で

日本テニス協会の75歳以上のカテゴリーでランキング20位。矢野良市さんは、全日本ベテランテニス選手権への出場を目指し、全国各地の大会を転戦するトップテニスプレイヤーです。そんな矢野さんが愛情を注ぐもう一つのテニス、それがエスキートニスです。

昼休みに社員が楽しんでいたのがエスキートニスでした。スペースを取らないコート、安価な道具。手軽さに魅力を感じ、自分の会社で紹介すると、あっという間に人気が出て、毎年社内大会が開催されるようになり、社外の大会にも参加するようになりました。

原爆投下後の広島で平和を願って作られたエスキートニスの理念に深く共感していた矢野さんは、もっと多くの人にこのスポーツを知ってもらいたいと考えます。平成2年に岩国市エスキートニス連盟を立ち上げ、競技人口を増やすため初心者教室を開催するようになった。平成8年からは毎年岩国オープン大会を開催。現在では最も人気のある大会の一つです。最近では市外でも普及活動

行い、防府市と周南市にエスキートニス連盟が立ち上がりました。

「テニスは自分のため、エスキートニスはみんなのため」にやっていると

いう矢野さん。普及活動に励む一方、プレー面では選手よりコーチとしての側面が強くなっているそうです。

「人に教えるというのは本当に難しい。教え方が悪いのかと悩んだり、性格や体格に合わせて教え方を変えてみたり。気付きも多く、自分のテニスのプレーにも生かされています」と話してくれた矢野さんに、今後の目標を聞きました。

「最後まで元気にテニスやエスキートニスを楽しみたいですね。そしてスポーツの楽しさを皆さんに伝えたい、その受け皿の一つとして、平和への願いが込められたエスキートニスを日本中に広めることができればいいなと思っています」

※平成27年4月30日現在



▲ベテランテニスツアーに向けて調整をする矢野さん。



▲木製のラケットに羽のついたボールがエスキートニスの特徴



生涯スポーツで

元氣な暮らしを

Vol.75

矢野 良市さん
(山手町在住)

山口県エスキートニス連盟会長。山口国体においてエスキートニス競技を開催するなど競技の普及に努める。生涯スポーツ功労者として平成24年度文部科学大臣表彰。

